

「地域密着型金融の取組状況」についてのお知らせ

「地域密着型金融の取組計画」に基づいた、平成25年度（平成25年4月～平成26年3月）の主な取組状況と、平成26年度に取組む主な推進項目および数値目標をお知らせいたします。

《平成25年度（平成25年4月～平成26年3月）の地域密着型金融の取組状況》

I. 大項目ごとの取組状況

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

（1）取引先の業績向上に向けた支援の強化

○経営支援の強化

- ・ 当金庫では、お取引先の業績向上に向けた取組みとして、中長期的なビジョンを踏まえた経営計画の策定をお手伝いしております。
- ・ 平成25年度は、25先のお取引先に対し、経営計画策定のお手伝いをさせていただきました。
- ・ また、後継者問題や事業承継につきましては、事業引継ぎ支援センター等の外部支援機関を活用し、それぞれのお取引先に最適な解決策の提案に努めました。

○創業・新事業支援および取引先の経営課題解決に向けた連携

- ・ 経済環境の変化や消費者ニーズの多様化、商品ライフサイクルの短期化などに伴い、事業を営むお客さまの抱える課題は日々高度化、複雑化しています。
- ・ 当金庫では、中小企業診断士を中心に組織する「融資サポート課（平成26年4月より“地域貢献部 地域サポート課”）を設置し、お取引先の創業や新事業への進出をお手伝いしております。
- ・ また、より高度な経営課題の解決にあたっては、行政機関や商工会議所など、外部の支援機関との連携を強化し、対応しております。
- ・ 平成25年度は、創業・新事業支援融資のお取扱い実績が20件、「経営革新計画」につきましては9件の承認を得ることができました。
- ・ 「経営革新計画」承認後の事業化に関しては、焼津市の「ネオ焼津プロジェクト」や藤枝市の「6次産業化ネットワーク」など、行政の支援策を活用し、継続的なサポートを実施しております。

○ビジネスマッチング機会の提供

- ・ IT社会の進展に伴い地域の事業者を取り巻く経営環境は激変しており、自社に関する情報発信は重要な経営課題となっております。
- ・ この課題を解決する手段の1つとして、当金庫では異業種ポータルサイト「まるせい千客万来.com」を開設し、地域の事業者の情報発信、ビジネスマッチング機会を提供しております。
- ・ また、信用金庫が主催する各種ビジネスマッチングイベントのご案内、出展の取次ぎを通じ、お取引先の販路開拓をお手伝いしております。

- 各ビジネスフェアの取次実績は以下の通りです。
静岡県中部地区4信金主催「しんきんビジネスマッチング静岡」出展企業数…33社
東海地区信用金庫協会主催ビジネスフェア 出展企業数…6社

(2) 取引先の再生や改善に向けた支援の強化

○経営改善支援やランクアップ支援先の継続的な管理・経営改善指導の強化

- お取引先それぞれが抱える問題点や課題を営業店と協議したうえで、年間を通じて定期的に改善状況の検証を行いました。
- 金庫独自の支援に加え、必要に応じて再生支援協議会や公認会計士などの専門家との連携を行い、企業実態を鑑みた症状別管理体制の確立に努めました。
- こうした活動の結果、平成25年度は9先がランクアップし、30先のお取引先の再生計画(経営計画)を策定することができました。

○取引先の事業改善および再生に向けた連携

- 近年、返済猶予による金融支援だけでなく、第二会社方式やDDS(資本金借入金)の活用などによる再生事案が増加しており、外部支援機関との連携が不可欠になっています。
- このような状況の中、(公財)静岡県産業振興財団や商工会議所の「専門家派遣制度」を活用したIT関連の専門家の派遣によるネット戦略の構築支援や、国土交通省の「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」を活用した改善支援を実施しました。
- 平成25年度における外部支援機関との連携実績は、以下の通りです。
専門家派遣制度活用…2先
静岡県中小企業再生支援協議会活用…9先
経営改善支援センター活用…3先

(3) 取引先や地域の課題解決に資する人材の育成

○提案型・課題解決型営業に関する知識の習得による職員のレベルアップ

- お取引先や地域が抱えるさまざまな問題、課題に対し、最適なソリューション(解決策)を提案できる職員を育成するため、「金融ゼミ」の実施や外部研修への派遣を行いました。
- 平成25年度は、職員の目利き能力向上、専門性の高い知識の習得を目指した「金融ゼミ」6講座を開催し、延べ178名が参加しました。
- また、昨年に引き続き、若手職員の早期スキルアップを図るため、入庫当初から融資業務を体系的に学ぶことができる「若手人材育成プログラム」に基づく各種研修を実施しました。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

(1) 地域活性化に向けた地方公共団体、商工会議所、地域関係機関等との連携

○地域活性化プロジェクトの実施

- 当地域で古くから使われている『屋号』に注目した地域活性化策「屋号のまち プロジェクト」を平成24年度に立ち上げました。

- 平成 24 年度に実施した「屋号のれんストリート」は、テレビや新聞等に取り上げられ、参加企業（団体）も当初の 18 社から 33 社まで拡大しました。
- 平成 25 年度は、焼津市内の屋号を持つ企業（110 社）の歴史をまとめた地域産業史『屋号と創業史』を編纂、平成 26 年 3 月に発行し、地元の図書館や学校等に寄贈させていただきました。
- 「屋号のまち プロジェクト」は、地域密着型金融の優良な取り組みとして、東海財務局より顕彰を受けました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

（1）地域に対する情報発信の強化

○地域密着型金融の取組みに関する情報発信

- 地域密着型金融の取組み内容および実績等については、各営業店への資料配置、金庫ホームページやディスクロージャー誌への掲載によって、情報を発信しております。
- 平成 25 年 3 月にホームページをリニューアルし、地域活性化に向けた取組みをはじめ、金庫のさまざまな情報を皆さまにわかりやすく、正確にお伝えするため、ページ構成や記事の充実を図りました。
- 「屋号のまち プロジェクト」につきましては、HP内に特設ページを設け、SNS（Facebook）を活用した情報発信も行っています。

II. 平成 25 年度の目標値と実績

1. 取組計画の数値目標と実績は以下のとおりです。

数値目標の内容	目標値	実 績	達成状況の評価
経営計画策定支援件数	20 先	25 先	目標を上回り達成しました。
事業承継計画策定支援件数	5 件	1 件	目標の達成には至りませんでした。
「中小企業新事業活動促進法」の経営革新計画承認件数	15 件	9 先	目標の達成には至りませんでした。
創業・新事業支援案件融資取扱件数	20 件	20 件	目標を達成しました。
ポータルサイト「千客万来.com」参加企業数（純増加）	10 社	0 社	目標の達成には至りませんでした。
県内中部四信金主催ビジネスフェア出展企業数	30 社	33 社	目標を上回り達成しました。
上記ビジネスフェア PR ガイドブック掲載企業数	220 社	240 社	目標を上回り達成しました。
東海地区信用金庫協会ビジネスフェア出展企業数	6 社	6 社	目標を達成しました。
ランクアップ先数	5 先	9 先	目標を上回り達成しました。
再生計画（経営計画）策定先数	30 先	30 先	目標を達成しました。

2. 経営改善支援の取組件数は以下のとおりです。

【平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月】

		(単位：先)				(単位：%)				
		期初 債務者数 A	うち 経営改善支援 取組み先数 α	α のうち期末 に債務者区分 がランクアッ プした先数 β	α のうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数 γ	α のうち再生 計画を策定し ている全ての 先数 δ	経営改善支 援取組み率 α/A	ランク アップ率 β/α	再生計画 策定率 δ/α	
正常先	①	3,099	40		38	12	1.3%		30.0%	
要 注 意 先	うちその他 要注意先	②	614	79	5	71	41	12.9%	6.3%	51.9%
	うち 要管理先	③	6	0	0	0	0	0.0%	-	-
破綻懸念先	④	416	66	4	60	52	15.9%	6.1%	78.8%	
実質破綻先	⑤	56	0	0	0	0	0.0%	-	-	
破綻先	⑥	6	0	0	0	0	0.0%	-	-	
	小 計 (②～⑥の計)	1,098	145	9	131	93	13.2%	6.2%	64.1%	
	合 計	4,197	185	9	169	105	4.4%	4.9%	56.8%	

Ⅲ. 中期経営計画について

地域社会やお客さまとのつながりや連携を一層強め、地域の持続的発展を目指していくため、平成 23 年度に中期（3 カ年）経営計画を策定し、平成 24 年度より取組んでおります。

焼津信用金庫では、金庫が持つ経営資源を最大限に活かしながら、地域社会や地域住民の皆さまとしっかりと向き合い、共に課題解決に努め、地域に愛され必要とされる金融機関を目指して参ります。

1. 計画名称

「第 2 次 まるせい『つなぐ力』発揮 2012」～地域の課題解決と持続的発展をめざして～

2. 計画期間

平成 24 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

3. 計画理念

金庫が地域のさまざまな主体を結びつける役割（「つなぐ力」）を発揮し、お客さま満足度が向上する金融サービスを提供することにより、新たな資金需要を生み出し、地域社会の持続的な発展に貢献することを目指す。

4. 基本方針（基本的な方策）

（1）課題解決型金融の強化

地域金融機関として、課題解決型金融への取組み等を通じて、地域活性化や地域の持続的な発展を目指す。

（2）独自性のさらなる発揮

協同組織金融機関として、信用金庫の独自性をさらに発揮する。

（3）持続性ある経営の確立

内部管理態勢の整備、経営効率の向上および人材の育成等によって、持続性ある経営の確立に努める。

IV. 平成 26 年度に取組む大項目毎の推進項目

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

（1）取引先の業績向上に向けた支援の強化

○経営支援の強化

○取引先の販路獲得や創業・新事業展開等に向けた支援

○取引先の付加価値を高めるサービスの提供

（2）取引先の再生や改善に向けた支援の強化

○支援先の継続的な管理・経営改善指導の強化

○取引先の事業改善および再生に向けた連携

○事業再生専担部署および営業店の再生支援の取組み強化

（3）取引先や地域の課題解決に資する人材の育成

○提案型・課題解決型営業に関する知識の習得による職員のレベルアップ

○若手職員人材育成計画に基づいた人材育成

2. 地域の面的再生への積極的な参画

（1）地域活性化に向けた地方公共団体、商工会議所、地域関係機関等との連携

○地域活性化事業の実施

○地域活性化プロジェクトの深化

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

（1）地域に対する情報発信の強化

○地域密着型金融の取組みに関する情報発信

V. 平成 26 年度の目標値

数値目標の内容	目標値
経営計画策定支援	20 先
事業承継計画支援	5 先
公的申請（経営革新・各種補助金）相談件数	30 件
創業・新事業支援案件融資取扱件数	20 件
ポータルサイト「千客万来.com」参加企業数	5 社（純増加）
県内中部四信金主催ビジネスフェア出展企業数	30 社
県内中部四信金主催ビジネスフェアPRガイドブック掲載企業数	220 社
全国信金ビジネスフェア出展企業数	2 社
ランクアップ先数	5 先
経営計画（再生計画）策定先数	30 先
専門家派遣制度活用件数	3 件
中小企業再生支援協議会初期相談件数	5 件
事業者支援促進運動による計画策定件数	54 件

以上